

グリーンハート



No. 111 7月号 発行日 平成27年7月17日

「緑のコーディネーター研修会」開催

■ハーブの料理教室

【日 時】6月23日(火) 10:00~12:30

【場 所】あいれふ9階 調理室

【講 師】田中寿子・柳田リワ子

【参加人数】26名(+事務局2名)

【メニュー】①鶏肉のモロッコ焼き ②ウインナーのハーブ焼き
③バジルソースの食パンピザ ④ミモザサラダ



緑のコーディネーターの皆さまを対象に「ハーブの料理教室」を開催しました。講師は、緑のコーディネーターで植物園ハーブボランティアをされている、田中寿子さん・柳田リワ子さんをお願いしましたが、植物園ハーブボランティアのメンバーの方が一体となって、取り組んでいただきました。

メニューを決めたり、レシピの作成の他にも、事前に“あいれふ”の調理室を借りて実際に予行演習もしていただいたお蔭で、当日はスムーズに進行する事ができました。

みなさん慣れない調理台に苦戦しながらも、和気あいあいと会話ははずみ、ハーブを使った料理が出来上がりました。緑のコーディネーターの皆さまと食事をするのは初めてでしたが、和やかな雰囲気の中会話がはずみ、とても良い交流になりました。
(公財)福岡市緑のまちづくり協会 安重富子



ハーブの基礎知識と、本日の料理の作り方を説明。



【鶏肉のモロッコ焼き】
鶏もも肉に切り込みを入れ、玉ねぎのみじん切り・ローズマリー・生姜・ニンニク等をはさみオリーブ油で焼きます



【ウインナーのハーブ焼き】
網目を入れたウインナーに鷹の爪・ニンニクをからませオリーブ油で焼き、パセリ・タイムで香り付けをします。



【バジルソースの食パンピザ】
パンにバジルソースをぬり、スライスしたトマト、チーズをのせて焼きます。



【ミモザサラダ】
葉物野菜に赤ピーマン・ズッキーニ・いり卵等とナスタチュームを飾り、2種類のドレッシングでいただきました



【楽しいお食事会】
「またお願いします」という声が聞かれました。

目次

- 緑のコーディネーター研修会 ハーブの料理教室 1
- 緑のコーディネーター研修会 ミニ意見交換会 2
- 純真高等学校のタマネギ収穫 3
- 畑deマルシェ 開催 3
- 苔玉づくり教室 4
- 瑞梅寺おきつねかみりを守る会に参加して 4
- 緑のコーディネーター体験講座 5
 - 多肉植物の寄せ植え
 - プリザブトフラワーのアレンジ
- 北海道ガーデンツアー 6
- 緑のコーディネーター養成講座 ニュース 7
- 花と緑のまちかど写真コンテストの審査委員を募集 7
- ボランティアルームを開設 8
- てらす花壇サポート隊 隊員募集中 8
- グリッピーキャノン2015 9
 - 会場装飾に取り組んでくださる緑のコーディネーターを募集
 - 緑のコーディネーターによる体験講座・イベント企画運営募集
- 緑のコーディネーター等研修会 開催 10
- 植物園からのお知らせ 10

(発行元/事務局)

福岡市住宅都市局
みどりのまち推進部
みどり推進課
TEL711-4424
FAX733-5590
(公財)福岡市緑のまちづくり協会 みどり課
メールアドレス:
aniju.t@midorimachi.jp
TEL822-5832
FAX822-5848

「緑のコーディネーター研修会」開催

■ミニ意見交換会

【日 時】6月23日（火）13:00～14:30

【場 所】あいれふ9階 研修室

【参加人数】26名（+事務局7名）

ハーブの料理教室と食事会に引き続き、福岡市の職員（3名）と緑のまちづくり協会の職員（4名）が加わりワークショップを開催しました。

ハーブティーとハーブクッキーをいただきながら、グループでワイワイと話してもらう“ワールドカフェスタイル”で意見交換会を進めました。テーマは、緑のコーディネーターとしてやってみたい事や事務局への要望などでした。

6グループに分かれて話し合い、その後各グループで1人だけ残り、あとはメンバーチェンジして次のグループでも話してもらって、最後にグループごとで発表してもらいました。

和やかな中にも活発な意見が飛び交い、大変有意義な意見交換会になりました。お一人お一人から貴重なご意見をいただき、緑のコーディネーターさんの想いが伝わってきました。その想いを無駄にしないように、今後も緑のコーディネーター・福岡市・緑のまちづくり協会が手を取り合って、花と緑あふれるまちづくりを進めていこうと、身が引き締まる思いでした。



意見交換会の進め方を説明



話し合った内容をグループごとに発表

★皆さまからいただいたご意見、ご感想の一部をご紹介します。

- ・「福博花しるべ」後の、警固公園がさみしい。ハンギングバスケットはコンテストではなく、市民参加型にして会場で作りこんで展示してはどうか。
- ・「福博花しるべ」「グリップキャンペーン」は見直しが必要。市民の方と体験交流を行う。
- ・ベランダでできる野菜づくり講座を行う。
- ・緑のコーディネーターだけで農園をつくり、イベントを開催してはどうか。
- ・他都市の緑ボランティアを訪問し、交流会を行う。
- ・日頃、会うことがない方と顔を合わせる事ができ、沢山の話が聞けて良かった。
- ・料理をつくって、料理を食べて、話しやすい空気のなか、本音で話し合う事ができた。

「ペットボトルを使った花飾り」講習会を開催

～西新公民館～（活動報告）

《緑のコーディネーター 吉松晃子さん》

6月16日（火）に、早良区の西新公民館で、ペットボトルを使った花飾りの講習会を行いました。

4月から公民館入口に花飾りを置いていたところ、教えてほしいとの声があり「西新公民館だより」で参加者を募り、参加費500円、2リットル角ペットボトル・ハサミ持参で、当日は28名に受講していただきました。

500mlのペットボトルで作った「土すくい」も好評で、コリウスとベゴニア緑葉・銅葉の3種類で作品が完成しました。

館長さん・主事さん・スタッフの方もエプロン姿で、手伝ってくださり、お陰さまで楽しい講座となりました。



純真高等学校のタマネギ収穫（活動報告）

《緑のコーディネーター 山川昇一さん》

【日時】5月26日（火）15：30～16：30

【場所】純真高等学校農園

【参加人数】園芸愛好会生徒 5名
ボランティアクラブ生徒 2名
園芸愛好会顧問教師 1名

純真高等学校（南区）では、晴天が続く5月26日（火）に園芸愛好会の生徒を中心に合計8人で、約千個のタマネギ収穫作業が行われたので、お手伝いをした山川がその様子をご紹介します。

収穫作業をする同高等学校農園は校舎の土手下にあり、面積は70坪程度の広さがあります。タマネギは昨年11月下旬に、中性品種苗を千個（白玉700個、赤玉300個）、雑草防止用マルチを張った後に、丸い穴を開け15cm間隔で深さ2cm程度に植え付けたものですが、心配していた春先のベト病被害も無く、タマネギは直径5～8cm程度に立派に育っており、ますますの収穫が出来ました。

生徒たちは、タマネギ収穫の経験は全員が初めてであり、タマネギを片手で抜く生徒もあれば、両手でサッサと抜いてゆく生徒、恐る恐る抜く生徒ありで、ぎこちない手つきは、見ていて微笑ましいものでした。

その後、葉っぱを根本から15cm位のところで切って、収穫物を学校玄関前まで運び終了となりました。生徒にタマネギ収穫の感想を尋ねたところ、下記のような声が聞かれました。

1. 普段やれない貴重な体験が出来たことはよかった。
2. 家に持ち帰って赤玉品種をサラダで食べたい。
3. 持って帰ったら、母親がびっくりすると思います。

私は収穫に参加した生徒一人一人が高校生活の中で、この体験が何かの役に立つことを願って帰路につきました。

タマネギの後は、サツマイモの植付けを行い、10月に生徒たちと一緒に収穫を楽しむ予定です。

純真高等学校より花や野菜に詳しい緑のコーディネーターさんを紹介してほしいと依頼があり、山川さんが快く引き受けてくださいました。昨年6月から週2回、園芸指導員として、花や農園の手入れをしていただいています。

また、外部講師として「植物について」の授業を4回（合計8時間）担当されています。

（事務局より）



タマネギを収穫する純真高等学校の生徒たち



収穫直前のタマネギ

ハーブガーデンのお披露目を兼ね「畑deマルシェ」開催

2014年6月から300坪の休耕田（宇美町）を活用して、ハーブ中心の植栽『ユニバーサルデザイン』を視野に、コミュニティー・オープンガーデンを作っています。まだまだハーブガーデンは未完成ですが、福岡市内外の皆さまに広く知っていただきたいと、お披露目を兼ねて「畑deマルシェ」を開催いたします。

●お問合せ先：特定非営利活動法人 緑のキャラバン隊
米倉 090-3147-5662

※詳しくはチラシをご覧ください。



苔玉づくり教室（活動報告）



《緑のコーディネーター 高井カホルさん》

【日 時】6月13日（土） 13:00～15:00

【場 所】今津運動公園 管理棟内

【講 師】森口正一

【参加数】13名（大人9名 子ども4名）

6月13日に今津運動公園で行われた「苔玉づくり教室」に、森口さん（緑のコーディネーター）と参加し、苔玉づくりの指導を行いました。

今津運動公園はとっても広く、この日も大勢の方が利用されていました。

今回参加された方は苔玉づくり初体験の方が多く、本当に上手く作れるだろうか心配されていました。苔玉に使う材料は公園事務所で用意された「宿根ロベリア、デコンドラ、コーカサスキリンソウ、ロータスプリムストーン」の4種類です。その中から皆さんの好きなものを選んで使ってもらいました。

ケト土に基肥の緩効性肥料を少量混ぜ入れ、こねて形を整え全体のバランスを見ながら材を植込みます。最後にハイ苔を貼りつけ、苔が落ちないように糸で固定し完成です。初めてのため特に糸のかけ方が難しかったようで、参加者の間を周りながら糸のかけ方を手助けしました。

参加者それぞれに個性的な苔玉を上手に作る事ができ、とても喜んでいただきました。



「瑞梅寺オオキツネノカミソリを守る会」に参加して その2（活動報告）

《緑のコーディネーター 森口正一さん》

7月第1土曜日は「瑞梅寺オオキツネノカミソリを守る会」年に一度の定例会。今年は発足15周年の節目を迎え、「朽ちた古いベンチを更新する」記念事業。今日の作業は5月に防腐剤を塗って準備した丸太を群生地へ担ぎ上げて設置する計画。

梅雨の最中にもかかわらず男女23名が参加、アカショウマの咲く林道を水無鍾乳洞へ。そば降る雨に濡れながらの作業となる。登山道に覆い被さる灌木の枝を払い、道をふさぐ草を刈り。「伐られないように札を下げよう。」残したい樹木や草花には荷札を下げる。

ベンチに使う太い丸太の前後に縄をかけ濡れた山道を登り、交代で担ぎ上げる。

群生地に近づくにつれ、そこここでは本来の時期を前に、早くも花茎を伸ばしほころび始めた蕾も開花した株もある。毎年作業しているが、昨年まではこの時期に開花したオオキツネノカミソリを見ることはなかった。

既に見ごろを迎えたハンカイソウ。これも温暖化の影響か？

時間とともに雨脚が激しくなる中、古くなった4か所のベンチを新しく作りなおすことができた。

今月下旬には林床一面を黄色に染めるオオキツネノカミソリと共に訪れる登山者を癒してくれることを願って。

*緑のコーディネーター 岩田登、高井カホル、森口の三名が参加



丸太のベンチを担ぎ上げる



ハンカイソウ



集合写真

緑のコーディネーターによる体験講座(活動報告)

■多肉植物の寄せ植え

《緑のコーディネーター 田浦和月さん》

【日 時】6月6日(土) 14:00~16:00

【場 所】博多市民センター 実習室

【講 師】田浦和月 有吉真由美・宮本るみ

【参加人数】21名

【参加費】1,500円

ブリキの器と卵のカラの器を使って、2種類の多肉植物の寄せ植えを作りました。ブリキの器には大きな多肉植物を植えてボリュームがある作品が出来ました。

卵のカラには小さな多肉植物を植えて、ワイヤーをかけて吊り下げられるようにしました。

質問タイムでは、徒長した多肉植物の植え替え方法や、そこ穴がない器での管理の仕方などの質問があり、実際に徒長した植物や器を使って説明しました。



多肉植物の育て方について多くの質問がありました。



ブリキの器を使った作品



卵のカラを使った作品

■ブリザーブドフラワーのアレンジ

《緑のコーディネーター 伊藤みどりさん》

【日 時】6月18日(木) 14:00~16:00

【場 所】中央市民センター 実習室

【講 師】伊藤みどり

森田純子・中川妙子・徳久康子

【参加人数】30名

【参加費】1,800円

当初の募集人数は20名でしたが、応募が多かったので30名に変更し、参加者がスムーズに制作できるように準備して講座にのぞみました。

開始時間の5分前には全員の方が揃い、各テーブルにセットしておいた材料(黒いフレームに赤いバラ・白いフレームにピンクと白いバラ)から、好きな材料の席に座っていただきました。

フォーカルポイント(中心となる花)の花をしっかりと方向を決めて固定し、各自、自由にアレンジしていただきました。おしゃれな作品が完成し、皆さん大切に持って帰られました。



バランスを考えながら挿していきます



黒いフレームに赤いバラを挿した作品



白いフレームにピンクと白いバラを挿した作品

北海道ガーデンツアー

《緑のコーディネーター 田中美智子さん》

6月24～26日、花好き女子21名で庭めぐりツアーへ行ってきました。

まず向かったのは、あのお菓子で有名な六花亭の花柄包装紙に描かれた、山野草でいっぱいの森を作ろうと生まれた「六花の森」。静かな佇まいに癒されました。



“九輪草”

日本に自生するサクラソウ科の中で最も大型の植物



せせらぎに沿って、たくさん九輪草が植えられています。

続いて、100年後の未来へ向けて作られた「十勝千年の森」。四つのテーマガーデンからなり、特に緻密に植栽された「メドウ・ガーデン」は、圧巻でした。しかも現在公開しているガーデンは全体の5%と聞き、スケールの大きさにびっくりしました。



オレンジ色のユーフォルビア ファイアグローウが際立っています。



ムラサキセンダイハギがきれいです。

2日目は、倉本聡さんのドラマで有名な「風のガーデン」からスタートです。



どこまでも続く小道



色々な色のハニーサックルのトンネル

続いて向かった「上野ファーム」も上野砂由紀さんが手がけられていて、宿根草・色使い・高さの違う植物の植栽パターンなど、とても参考になりました。



おとぎの国のようなお庭



有名なミラーボーダー（左右対称）

午後は、大雪山に抱かれた丘に広がる森の中に作られた「大雪山のガーデン」です。デザイナーズガーデンや、上野さんが手がけられた「おもてなしの庭」。ゆったりした時間が流れていました。



ゆったりとした小道

← 幻の青いケシの花

最終日は、個人邸を3軒回りました。どこのお宅も、手作りばかりで、それぞれ個性のあるお庭でした。



オープンガーデンT邸
白樺で作ったアーチ



オープンガーデンS邸
シェードガーデン

移動中の車窓から見える、じゃがいも畑・麦畑・白樺・針葉樹。北海道は、長い間雪の下で力を蓄え、雪解け後、暖かい春になって一気に芽をだし花を咲かせます。

同じ花でも、九州とは色・大きさが違うと思いました。四季を通じて、何度でも足を運びたいくなる北海道でした。

「緑のコーディネーター養成講座」ニュース

■第2回「ようこそ先輩！緑の活動いろいろ」

【日 時】6月23日（火）18：30～20：30

【場 所】アクロス福岡608会議室

【参加人数】43名

第2回緑のコーディネーター養成講座では、3人の先輩コーディネーターさんから活動の話聞き、緑のコーディネーターがどのような現場、想いで活動を行っているか学びました。



★山崎博子さん（平成16年度養成講座修了）

【花の仲間たち】九州がんセンター内にある花壇の管理、育苗等を行う。

【園芸福祉ふくおかネット】アイランドシティ中央公園内にある「園芸福祉の庭」の維持管理を行う。

★廣瀬裕美子さん（平成21年度養成講座修了）

【市民緑化グループわたしの木】早良区の曲淵水源涵養林における竹伐採、下草刈り等の森林整備作業を行う。

★前田郁子さん（平成25年度養成講座修了）

【舞鶴公園フラワーボランティア】福岡市の舞鶴公園西側花壇の整備を行う。

【フラワーボランティア遊花】賀茂校区を中心に花植え活動を行う。

九州がんセンターで病む人の気持ちを思いやって、長く活動を続けている山崎さん。山の活動をいきいきと話してもらった廣瀬さん。時間を有効に使ってパワフルな活動をされている前田さん。

3人ともいきいきとした表情で、それぞれの活動を紹介していただき、受講生の皆さまは緑のコーディネーターが身近に感じたようでした。

～緑のコーディネーターのみなさまへ～

花と緑のまちかど写真コンテストの審査委員を募集します！

福岡市内で撮影された花と緑をテーマにした写真コンテストである「花と緑のまちかど写真コンテスト」の審査を行っていただく方を募集します。写真に関心のある方、審査に参加してみませんか？

- ・募 集 1名
- ・実施日 9月7日（月）14：00～17：00
- ・実施場所 福岡タワーセンタービル2階タワーホール（福岡市緑のまちづくり協会事務所向かい）
- ・委員構成 西日本写真協会2名、緑のコーディネーター1名、福岡市みどり推進課長（公財）福岡市緑のまちづくり協会みどり課長 計5名
- ・審査内容 推薦（最優秀賞）、まちかど、しぜん、イベント、さくら 各部門の賞及びカレンダー賞の選定

ご協力いただける方は、7月31日（金）までに電話、FAX、メールにて下記連絡先までお名前、連絡先をお知らせください。



昨年の審査会の様子

申込先：（公財）福岡市緑のまちづくり協会
みどり課企画推進係 担当：梶返・中原
TEL：822-5832 FAX：822-5848
Mail：mms@midorimachi.jp

「ボランティアルーム」を開設しました！

- 【場 所】（公財）福岡市緑のまちづくり協会
福岡市早良区百道浜2-3-26（福岡タワーセンタービル2F）
- 【開設時間】月～金 9：30～17：00
- 【休館日】土・日・祝日・年末年始（12/29～1/3）
- 【対 象】緑のコーディネーター、地域の森・花づくり活動団体
- 【収容人数】15名程度
- 【利用できる設備】パソコン（インターネットにつながっています）
湯呑み、ポットなど
コピーが必要な場合はお申し出ください。
- 【申込方法】TEL、FAX、メールでお申込みください。（先着順になります）
利用内容、利用時間、人数をお知らせください。
- 【申込先】（公財）福岡市緑のまちづくり協会 みどり課
TEL：822-5832 FAX822-5848
Email:mms@midorimachi.jp



緑のコーディネーターと地域の森・花づくり活動団体の皆さまが、打ち合わせや資料作り等に自由に使える部屋として、福岡市緑のまちづくり協会内に「ボランティアルーム」を開設いたしました。8月3日（月）から利用できます。どうぞご利用ください。

「てらす花壇サポート隊」隊員募集中！

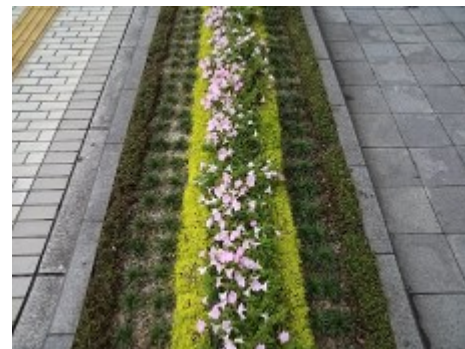
企業の協賛により福岡のまちを明るく照らす「てらす花壇事業」による花壇整備が、昨年度から始まり、天神、博多の4か所に花壇が設置されています。この度、市役所玄関のてらす花壇デザインを担当された緑のコーディネーター吉松さんからの発案で、「てらす花壇サポート隊」が結成され、7/7（火）に第1回目の活動を行いました。当日はあいにくの雨予報の中、7名の方に集まっていたいただきました。

まずは市役所花壇のデザインを担当された吉松さんから、デザイン図面をもとに、花壇のデザインコンセプト「博多帯」についてご説明いただきました。博多織の華やかな親子縞の意匠を植物で表現し、維持してゆく苦労についても伺いました。

続いて作業に取り掛かります。普段から花づくり活動をされている緑のコーディネーターの皆さまに作業のコツを教わりながら、事務局スタッフも

慣れない手つきで作業を進めます。ミスキャンタスの中の除草、パチュニア、ダイアンサス、インパチェンスの花殻摘み、ワイヤープランツ、セダムの刈り込み、落ち葉の清掃を行いました。市役所の正面玄関という目立つ場所にある花壇だけに、できるだけ花を残して、花壇の見栄えを保ちながらのお手入れとなりました。和気あいあいと作業を進め、あっという間に予定の1時間が経過しました。最後に作業の仕上がり具合をみんなで確認し、親子縞のライン復活を喜びました。皆で作業を行うと、作業が早く終わるのはもちろんの事、情報交換やおしゃべりに、楽しい時間となりました。

今後も第1火曜日の午前中にサポート隊の活動を予定しています。次回は8/4（火）です。参加を希望される方は、みどり課倉橋（Tel822-5832）までご連絡下さい。緑のコーディネーターの皆さまのご参加をお待ちしています！



『グリップキャンペーン2015』にご参加ください


～ひろげよう 育てよう みどりの都市～



■グリップキャンペーン会場花装飾と一緒に取り組んでくださる 緑のコーディネーターを募集します！

来る10/17-10/18舞鶴公園西側広場にて、都市緑化啓発イベント「グリップキャンペーン2015」を開催する運びとなりました。事務局では本イベントの趣旨を来場者に伝えるために重要な役割を果たす会場花装飾について、緑のコーディネーターの皆さまと作り上げたいと考えています。つきましては、グリップキャンペーン2015の会場花装飾について、企画から実施まで事務局と一緒に取り組んでいただける緑のコーディネーターの皆さまを募集します。

なお、工程（案）は次のとおりです。

| | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none">・7月29日（水） 10：00～ 舞鶴公園 ・8月上旬～・8月中旬～・9月中旬～・10/17-10/18 | <p>企画会議</p> <p>【検討課題】</p> <ul style="list-style-type: none">①花と緑のイベントらしい、効果的な花装飾とは？②花装飾に緑のコーディネーターや市民の皆さまに参加していただくには？③グリップキャンペーン期間だけの花装飾ではもったいない。④西側広場の広い空間を活かす花装飾とは？ など <p>準備作業 播種・灌水・除草 等 花装飾制作、事前展示、広報 グリップキャンペーン2015</p>  |
|--|---|

参加を希望される方は、7/27（月）までにグリップキャンペーン事務局みどり課倉橋（Tel 822-5832）へご連絡下さい。アイデアだけ、実施だけの参加も大歓迎。皆さまのご参加をお待ちしています！

■緑のコーディネーターによる体験講座・イベントの企画運営募集

毎年秋に行っている「グリップキャンペーン」を、今年は舞鶴公園西側広場で開催いたします。広々とした緑あふれる会場を活かして、来場者と一緒に行えるイベントを企画・運営をしていただける緑のコーディネーターさんを募集いたします。17日は小学生を対象にした「ありがとうの緑フォーラム」が開催されます。子ども向けのイベントも大歓迎です。

また、今年も植物を使った「緑のコーディネーターによる体験講座」の講師も募集いたします。

【日程】10月17日（土）・18日（日）

【場所】舞鶴公園西側広場

【講師】緑のコーディネーター2名1組でお申込みください。



（広場を使ったイベント・例えば…）

- ・ネイチャーゲーム ・植物観察会
- ・落葉で大きな絵を描いてみよう など・・・

（体験講座・例えば…）

- ・こけ玉 ・多肉植物の寄せ植え など・・・

◆イベント・講座の内容・日程が重なった場合は事務局で調整させていただきます。

◆お問合せ、お申し込みは下記までお願いいたします。（申込締切7月31日）

（公財）福岡市緑のまちづくり協会 みどり課 安重（あんじゅう）

TEL：822-5832 FAX：822-5848 E-mail:anjyu.t@midorimachi.jp

緑のコーディネーター等研修会「植物の選び方・育て方講座」開催

緑のコーディネーター及び地域の森・花づくり活動団体の皆さまを対象に「植物の選び方・育て方講座」を開催いたします。

ちょっとした手入れで花を長く楽しむ方法などを、スライドを使って勉強いたします。

【日時】9月10日（木）10：00～11：30

【場所】中央市民センター第一会議室

※詳しくは同封のご案内をご覧ください。



福岡市植物園からのお知らせ（情報提供）

こんにちは福岡市植物園です。

8月の毎週土曜日と9月1・2週目の土曜日は『夜の動植物園』を開催します。今年は夕方閉園せずに、そのまま21時まで開園します（入園は20時30分まで）。オオマツヨイグサやユウガオなどの夜に開花する植物や、運が良ければ月下美人やオオオニバスの花なども観察することができます。昼間とは違う雰囲気的植物園をお楽しみください。また、夜の動植物園中は、無料“Zooバス”を運行しています。詳細は下記に記載しております。

また、7月になり「ヒョウタンのトンネル」が徐々に成長しています。全長約30mで、植物園の入口広場の奥にあります。大きいものや小さいもの、くびれのあるものやないものなど、数多くのヒョウタンができています。また、マイひょうたんづくり体験教室（11/1予定）で収穫したヒョウタンの加工体験ができますので、ぜひご参加ください。

暑い日が続きますが、植物園に涼みに来てはいかがでしょうか。ぜひお持ちしております。



ヒョウタンのトンネル



夜間開園の様子

○展示会

- ・こどもスケッチ大会作品展 7/14（火）～10/12（月）
- ・アサガオ展 7/22（水）～8/30（日）

○講座

- ・ハーブの効用 8/5（水）開催（※切7/22（水））
- ・押し花教室（連続4回） 8/11, 9/8, 10/6, 11/10（火）開催（※切7/28（火））
- ・バラの手入れと管理 8/20（木）開催（※切8/6（木））

☆植物園ホームページ <http://botanical-garden.city.fukuoka.lg.jp/>

※今年の6月で福岡市植物園は開園35周年を迎えました。

☆『無料“Zooバス”』

- 運行日： 夜間開園期間中
- ルート： 地下鉄七隈線『六本松駅』①番出口 ⇄ 動植物園（植物園正門）
※桜坂駅からは運行しておりませんのでご注意ください
- 運行時間： 15：00～21：15（約15分間隔で運行）
 - ・六本松駅始発 15：00
 - ・動植物園最終 21：15

○駐車場が少ないため、公共交通機関のご利用にご協力ください。

○地下鉄七隈線と無料“Zooバス”をご利用の方は団体割引料金でご入園頂けます。
（通常大人400円→320円・高校生200円→160円）

